いわき民報
磐城平市田町一三八番地　電話一五番
印刷人　平塚克己
発行人　平塚克己
毎月一日、十一日、二十一日発行
定價　一ヶ月廿円　一部七十錢
發行所　磐城民報社

高速自動車道路開設

鈴木市長あす出縣請願

鈴木平市長は地方産業文化の開發のため石川郡邊田村を經由して郡山市に出る高速自動車道路を開設すべく、郡山市及び邊田村を始め關係町村の協力のもとに去る二十七日期成同盟會も組織したので、二日、本間郡山市長、岡部邊田村長ほか關係町村長二組、谷田川、守山町を經て郡山市に出るものである

間に　山　郡　⇔　田　蓬　⇔　平

榮譽の表彰

十日勞働基準監督署ではさきの全國産業安全週間實施に當り縣下の成績優秀だつた左記個人並に團體の表彰式を十日午前十時から擧行する

◆個人
◇片倉工業株式會社平製糸所酒谷花子◇日本製鐵株式會社勿來工場長大綱尚◇株式會社丸ほん製作所丸山武夫

◆團體
◇株式會社田邊製作所◇磐城セメント株式會社四倉工場◇日本製鐵株式會社勿來工場

縣連青主催卓球大會

縣連合青年團卓球大會は七日午前九時から市内第三小學校講堂に開くが、縣下各郡市から代表選手三名づゝが出場シングルの團體チーム戰の熱戰を展開するお樂しみを企畫されている

馬産增進計畫成る

地方事務所では二十三年度馬生産擧增進事業の計劃をたて四月より實施に移すことになり縣下町村長宛て通知した、計劃内容は

▲發情の鑑定と種付適期の選定▲種付後の試情▲牛馬器疾患の診療▲人工授精術の應用▲早期雌雄鑑別▲優良種牡馬の配置適否の指導▲馬匹による有畜農業經營法の指導

なお本年の種付目標は縣下一千六百頭となつており前年と大差はない

登錄店決る

再登錄は六日まで

郡下味噌醬油小賣業者の登錄申請店舗に對する投票の結果は味噌醬油二百十四店舗の中二百九十七店が又紙製品參拾は百十四店中九十二店が當選した落選に依る再登錄は六日頃までに完了される

市内各校で催し　あすは嬉し雛祭

學藝會やお話の會

桃の節句の三日市内各學校では卒業を間近に控えて忙しいが第一小學校では各學級毎に講話の會や學藝會を開きまた二年生の嬰ちやんたちは午前十時から公會堂日本間に雛人形を飾つて學藝會を樂しむ、第一小學校では當日の關係で一日繰越して四日同校講堂に男女全兒童が會合して學藝會を開催、第三、四兩小學校は卒業で忙しいから催しものを行はない新制第一中學は毎に組手任が中心となつて桃の節句のお話をする

なお平勝保館では卒業の關係で今年は遠慮の會を開かない

奉贊會を結成して

飯野八幡神社の新生方途成る

飯野八幡神社は地方民崇敬の工業や製糸工場青年學校講堂社なので永遠に繁榮せしめたいという意から一日有志十餘名が同社に會合種々協議の結果、飯野八幡神社奉贊會を組織することに決定し役員も左の如く決めた、而して當面の事業としては飯野古文書の頒布、幼稚園の經營、宗教の普及に努める

◎會長　飯野勝男◎副會長　山縣正一◎顧問　諸橋久太郎、山崎與三郎、松本德一

町村自體の加入要請

磐城觀光協會が

磐城觀光協會では資金獲得の一策として郡下各町村自體の加入を求めることになり最高平市の五千円から千五百円、千円、七百円、五百円の五段階に分け新線第に各町村とも計上してもらうようそれ〳〵協力を要請した、これに依つて得る賛金は二万九千七百円を算する

町村自體の加入要請

磐城觀光協會が

磐城觀光協會では資金獲得の一策として郡下各町村自體の加入を求めることになり最高平市の五千円から千五百円、千円、七百円、五百円の五段階に分け新線第に各町村とも計上してもらうようそれ〳〵協力を要請した、これに依つて得る賛金は二万九千七百円を算する

職業紹介　住宅付住者

申込み求人たつた

住宅難が深刻になつてゐると「住宅付求職者」募集という變つた求人申込も出て來る、更に事務所が無くて困つている日農石城協議會では城山を除いた各市町に居住する十八才以上の方を對象に公共職業安定所へ願いたいと申込んで來たが「自宅勤務の可能な方」と但書をしている、老若男女を問はないが「住宅」付であることをお忘れなくとある待遇は面談の上だがさてその事務に可能な家と事務員が揃つて居つて欲しいと來るかどうかは當局の關所員もわからないそうです

遠藤穂目別　補助割當

市の健民費から

市の健民費としての各種スポーツに對する明年度の補助額は左の通り

野球五、〇〇〇円◆庭球五、〇〇〇円◆陸上競技五、〇〇〇円◆籠球二、〇〇〇円◆卓球一、〇〇〇円◆市吏員從組係育部五、〇〇〇

米だけでも二十九俵

◆曉の列車取締り

平地區、自治兩署では一日午前零時上り二〇ス列車を急襲の結果、有主物百二十八件無主物百十六件の合計二百二十九件をあげたが恐喝はなかつた、押收物は米二十九俵を筆頭に雜穀三俵半、鮮魚五十貫タバコ一キロに過した

優秀な種

神經科　精神科　電15
平市通町　アラタメ小路　新田目醫院

ミシン
販賣・修理・部品
平二丁目　シンガー
石川商會ミシン部

いわき寸言
◆あすは桃の節句、内閣寄せ集め雛はそろいましたかナ◆冬物の空ッ風が空の財布を吹く……飛ぶのすらありません

性病科　内科　電828
平市飯田町　矢吹醫院

同窓會員に告ぐ
認　公　三浦洋裁學院
本校（日本高等洋裁學院）より校長並に權威ある先生を招聘し、進展する服裝界へのお話と共に婦人服　ニュースタイル）の一日講習を致します
同窓生諸姉の御來會を希望致しましてこゝにお知らせ致します
尚一般の講習生も差支へありません振つて御來會下さい
日時　三月七日（日曜日）九時より三時まで
場所　いわき民報社ホール
三浦洋裁學院
平市中町壹（電話九〇に壹）

浩一儀逝去の際は御多用中遠路わざ〳〵御會葬下され且つ御鄭重なる御香奠を賜はり御厚志の段有難く御禮申上げます
昭和二十三年二月二日
平市田町一〇三
妻　松田英美
母　松田コト
外親戚一同

職場の人達 ⑦

一食はず嫌いの世間

プロの共産主義共鳴は當然

記炭公團常磐支團總務課　中村登志子（三）さん

炭公團とは石炭配給業務の合理化を圖るため去る二十二年六月ロ石炭配給株式會社が發展的に解消して出來た組織で比較的若い人の集つている事務所である。中村さんはその總務課文書係で同勞組婦人部の監事も努めているエキスパート、それだけに意見も仲々進歩的である。既に知れている配炭公團分組婦人部のお茶入拒否（？）申合せの理由をこう說明している「女とお茶を入れる爲に生えて來たのではない、男の人となんて絶對ありません、地方の人々はずん新的な事を嫌うようですが新しい知識を注入しなかつたら時代遲れするわ、私たちプロレタリア階級の自覺が强いというのである點しもつのは當然でしよう。一般に共産主義に對しては主義そのものゝ研究もせず食わず嫌いの傾向があると思います、職場の多くの人々は働くものゝ味方であつて欲しいと思いますね」彼女たちの話では男でもお茶を入れることが不自然でない社會に生つたとき男女同權も板についたというものだつた、戀愛にしても各自に責任をもたせて交際させれば問題でそう心配したものではない、また部所によつては殘業もこの職場で遲くまで續けられていることもあります、がこの點では身體を惡くする性かも知れないそれ程までして職場結婚をしたもの四組あるのだ、そんな處に封建的な色彩が强いというのである點しとの問題も解決すると思う同支團には男子二百十名、女子六十一名、市內三丁目の支部事務所のほか分室が三ケ所に分散している

◎待遇：市內でも月給が良いというので公團には勿論だが中村さんの場合は日炭當時から丸二年勤續で本俸九百八十六円、手當を加えて二千二百円程の月收、職場配給はないがこゝの職場では男女の別を廢して年齡給である點民主的であろう

◎結婚觀その他：戀愛結婚が良いその點には違いない意味で異性と多く交際し適當な方を求めることが良策、同支團には職場結婚をしたもの四組あるが同じ職場に勤務しているものゝおりお村さんはこれが理想的だそうです、互に理解があつて非常に進歩的のように感じられる、そのためには女性を家庭の煩雜から解放する意味で生活を社會化することまた國家で育兒やお裁縫を引受けて呉れる施設を考えて欲しい、現在は理想論であろうが知れません、がそうしたなりなどをしてのち女性と産前産後の休暇或は生理休暇を必要となければなりません、というのであそこをした公團には樂人が多いと耳にするがこゝの婦人部の方は服裝も質素の中に洗練されたところがあるのでそう見える人もあるのでせうと語つていた

狂人の行倒れ

市內月見町塗龍吉さん長男喜治さん（二九）は二日朝八時ごろ平驛待合室で病死した、數年前から精神に異常をきたし自宅同樣の流浪生活をしていたもの、檢死の結果榮養失調死と判明、同日講座を毎日午後三時まで開く

生長の家

明光講座

生長の家や

誌友相愛會

では谷口正治氏の昌榮吉田屬太郎氏を招き三、四、五の三日間長橋町生源寺に於て光明

迷子のいわしヤーイ

賣でも春職に見切りつける

二年續きの不漁をかこつていた本縣の鰯漁業に一條の望みを與えた本縣の鰯漁業に一條の望みをかけている、全然ハマから姿を消したイワシはどこへ行つて仕舞つたか？ハマの消息通の話を綜合すると次の如く潮流の變調が原因である

手古摺る潮流の惡戲

千葉　宮城では二度獲り

先づ昨年の不漁を見ると金華山沖から南下中のイワシ群が丁度小名濱港沖に差かつたとき黑潮（暖流）の下を潛流（寒流）の勢力の强い親潮（寒流）の流れが强い暖流を押わけて陸岡に頭を出したため南下の途中にあつたイワシ群が驚いて南と北に逃走して仕舞つたのが最大の原因だつた、このため小名濱港を中心とした不漁をよそに千葉縣は勿論宮城縣でも二度獲りと云う幸運に惠まれている、更に今年の不漁の原因は昨年の不漁のためイワシを保護する爲に小名濱港に於ける水溫調査に依ると昭和二十年を最も溫かの谷底として以後順次年々並へ回復しつつありこの分だと潮流も今秋までには常態に復するのではないかと見られているが、寒流の勢力の强い原因としては太陽の黑點などの影響でこゝ二十年來北氷洋の氷解が始つているからだと見ている、この氷解水は冷却が强く魚分もその分だけ良いその點には違いない意味で異性と多く交際し適當な方を求めることが良策、同支團には職場結婚をしたもの四組あるが同じ職場に勤務しているものゝおりお村さんはこれが理想的だそうです、互に理解があつて非常に進歩的のように感じられる、そのためには女性を家庭の煩雜から解放する意味で生活を社會化することまた國家で育兒やお裁縫を引受けて呉れる施設を考えて欲しい、現在は理想論であろうが知れません、がそうしたなりなどをしてのち女性と産前産後の休暇或は生理休暇を必要となければなりません、というのであそこをした公團には樂人が多いと耳にするがこゝの婦人部の方は服裝も質素の中に洗練されたところがあるのでそう見える人もあるのでせうと語つていた

ニュースタイル
早く親切に

ないことになる

水溫は漸次平年型

かくて昨年も今年も特殊の不溫のためイワシを取逃して仕舞つたがハマでは來るべき秋の漁獲に大きな期待を掛けている、小名濱港に於ける水溫調査に依ると昭和二十年を最も溫かの谷底として以後順次年々並へ回復しつつありこの分だと潮流も今秋までには常態に復するのではないかと見

出張驛本陽

美の巡査田舍廻り

岩本自治警察官の初巡察

岩本驛派出所田部巡査は二十七日炭礦に就職しようと來た二人の若者山形縣西村山郡上ノ北町佐藤計三（十八）岩手縣江刺郡出原町字石山佐藤直武（二〇）の兩君が常磐礦に來たが就職出來ず途方にくれ歸に來たが歸へる汽車賃もなく困り拔いているのを夫が鄕里までの切符を給の中から割つて歸へしてやつた

古本專門の親切な書店
平市新川町
鎌屋文庫

買受專門
金屬・洋服・貴衣類・高級家具その他
書畫・時計
平市大町通り
鈴木商會

産婦人科
齊藤醫院
院長　齊藤正雄
平市字明神九〇二

健康のモトは
毎月一回清腸日を
1 腸の疾患排除（消腺藥）
2 回蟲蛔虫の驅除（虫下シ）
3 レバロン、カルシウムの榮養劑の補給
（ウカレ、ムシワカズ）
日本健民協會平市部會研究會
國民健康保險藥劑師
公衆衛生組合
藥劑師　阿部康雄
阿部康藥局
平市田町銀座街

レントゲン・內科
谷口醫院
平市二丁目四九（電八）